

微小害虫の飛翔高度と施設への侵入経路

[研究のねらい]

野菜や花きの施設栽培では、アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類などの微小害虫が、主に成虫の飛来により施設内に侵入します。これら害虫の侵入を防止するために、害虫の飛翔高度と施設への侵入経路を明らかにします。

[研究の成果]

- ①アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類は地上1m程度の低いところを飛翔します(図1、2)。
- ②秋季のアブラムシ類はやや高いところを飛翔します(図1)。
- ③ガラス温室に飛来するミカンキイロアザミウマ成虫は側窓の開口部から侵入し、天窓からはほとんど侵入しません(図3)。

[成果の活用面・留意点]

- ①微小害虫の多くは施設の側窓開口部から飛来侵入するため、侵入防止には側窓への防虫ネット被覆が有効です。

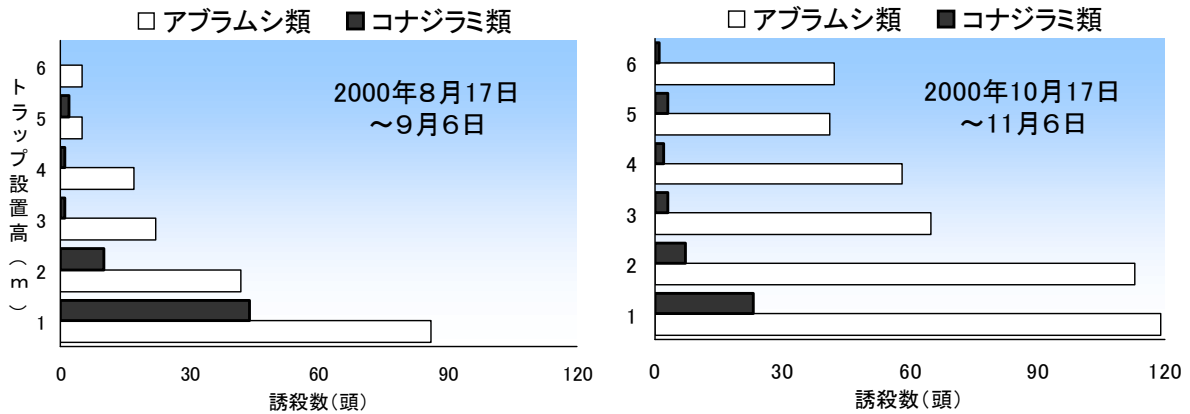


図1 アブラムシ類、コナジラミ類の黄色粘着トラップによる高さ別誘殺数

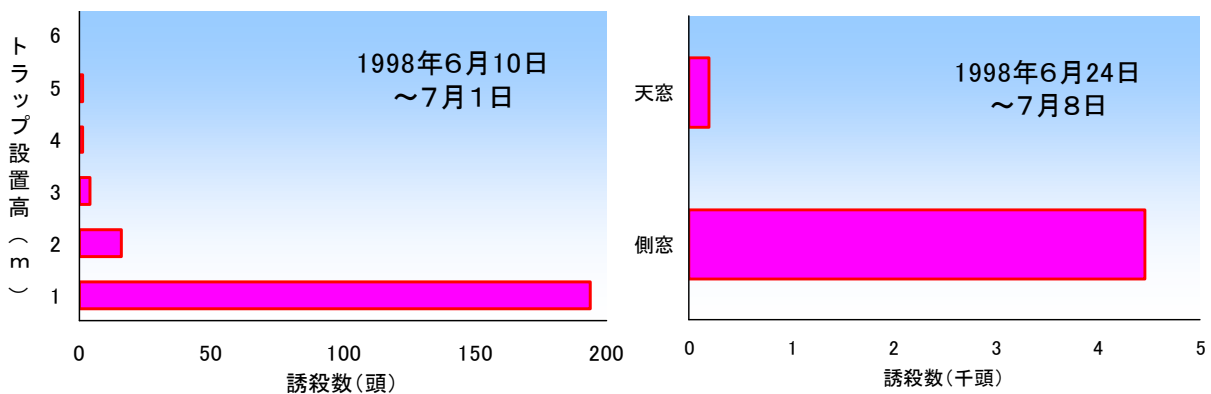


図2 ミカンキイロアザミウマの青色粘着トラップによる高さ別誘殺数

図3 バラ栽培ガラス温室に設置した青色粘着トラップによるミカンキイロアザミウマの誘殺数

実施年度：平成10～12年

担当者：福嶋総子、井口雅裕、矢野貞彦